

## NS 本体バージョン 8.1 をリカバーする場合の実行方法

### はじめに

現在お使いの NS 本体バージョンが 4.x、5.x、6.x、7.x、または 8.0 の場合、当プログラムを使用することにより、システムプログラム Ver.8.1 にアップデートすることができます。また、Ver.8.1 を使用中、NS 本体に何らかの異常が発生した場合、システムプログラム Ver.8.1 をリカバーすることができます。

当プログラムは、下記の全機種共通のため、以下の操作も全機種共通となります。

- NS12-V1/V2、NS10-V1/V2、NS8-V1/V2、NS5-V1/V2
- NSJ12、NSJ10、NSJ8、NSJ5
- NSH5

本書では、特に断りのない限り、上記全機種をまとめて「NS 本体」と表記します。

### 当プログラム実行前に確認のお願い

形式末尾に-V1 または-V2 のついていない NS12/10/7 に対しては、絶対に当プログラムを実行しないでください。

### 目次

はじめに.....	1
1. プログラム実行のための準備.....	2
2. リカバー/アップデートプログラムの動作.....	5
3. リカバー/アップデート後の確認.....	11
4. トラブルシューティング.....	13
5. メモリカードに関するご注意.....	14
6. 旧バージョンのリカバー/アップデートを使用する場合のご注意.....	15

## 1. プログラム実行のための準備

当プログラムを実行するには、50MB 以上のメモリカードが必要です。メモリカードは、お手数ですがお客様でご用意ください。Windows2000 (SP2 以降)、WindowsXP、WindowsVista でフォーマットされたメモリカードでは、動作しませんので、ご注意願います。また、ご使用になるメモリカードに関する注意点を第5章に記述していますので、こちらもお読みください。

### <手順の概要>

- ①リカバー/アップデートプログラムを、メモリカードにコピーします。
- ②このメモリカードを NS 本体に挿し込み、電源を ON します。
- ③最初の画面で、クリーンインストールか上書きインストールかを選択します※。選択後はプログラムが自動的に実行されます。

※選択画面表示後 20 秒以内にタッチパネル入力がない場合は、上書きインストールが選択されたものとして以降のプログラムを続けます。

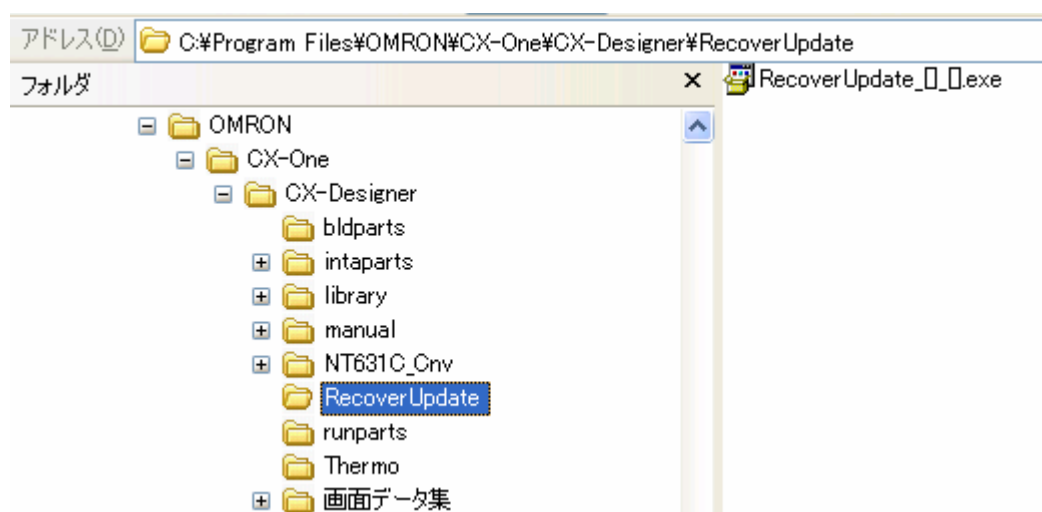
※リカバー/アップデートプログラムでインストールするシステムプログラムのバージョンよりも、NS 本体に入っているプロジェクトデータのバージョンが新しい場合、インストール方法選択画面は表示されず、クリーンインストールが自動的に実行されます。

例) リカバー/アップデートプログラムのバージョン Ver.5.0  
NS 本体に入っているプロジェクトのバージョン Ver.6.0  
の場合、クリーンインストールが自動的に実行されます。

### 1.1 手順①：プログラムをメモリカードにコピーします

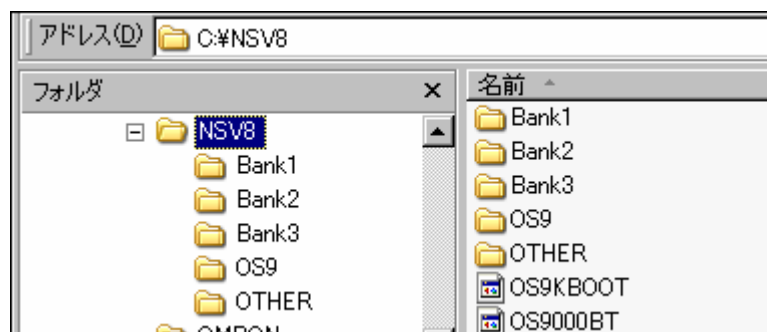
<CX-Designer Ver.3.0 のインストールフォルダからコピーする場合>

CX-Designer Ver.3.0 インストール時に選択したリカバー/アップデートプログラムは、インストールフォルダがデフォルトの場合、C:\Program Files\OMRON\CX-One\CX-Designer\RecoverUpdate 以下にインストールされます。リカバー/アップデートプログラムは自己解凍書庫ファイルでインストールされます。

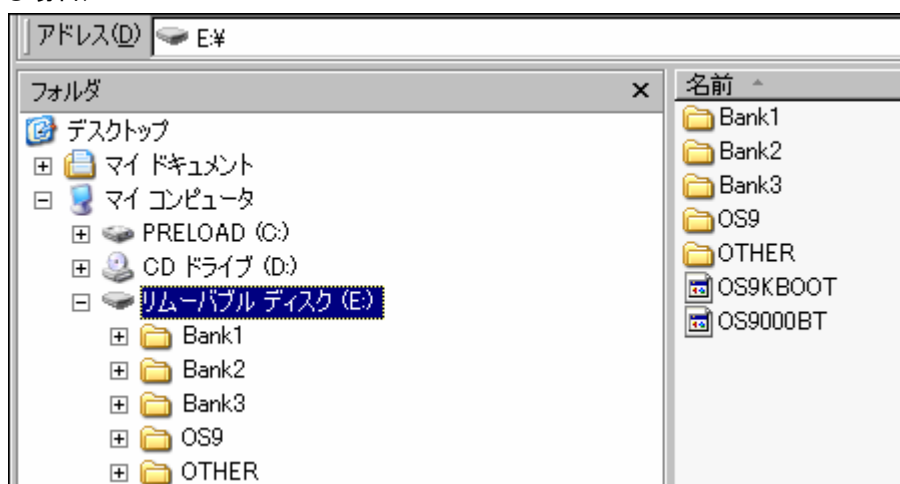


RecoverUpdate\_8\_1.exe 実行します。

任意の解凍先フォルダを指定し、「解凍」ボタンをクリックします。解凍完了後、リカバリー/アップデートプログラムが作成されます。(下図は C:\NSV8 に解凍した場合)



これらすべてを、メモ리카ードのルートの直下にコピーしてください。(下図は E ドライブにメモ리카ードが割り付けられている場合)



これで、メモ리카ードの準備はできました。パソコンからメモ리카ードを抜いてください。

## 1.2 手順②：メモ리카ードを NS 本体に挿入し、電源を ON します。

1. NS 本体に接続されているすべての通信ケーブルを抜いてください。
2. メモ리카ードを NS 本体に挿入してください。
3. 電源を ON します。(すでに電源が ON の場合は、一度 OFF にし、再び ON してください)
4. 約 10 秒後、インストール方法選択画面が表示されます。

※プログラムが実行されない場合、メモ리카ードが認識されていない状態です。コネクタに正しく装着されているか確認してください。また、メモ리카ードに関する注意点として、第5章もお読みください。

### 1.3 手順③：インストール方法を選択します。

インストール方法については、次のような場合を基準に選択してください。

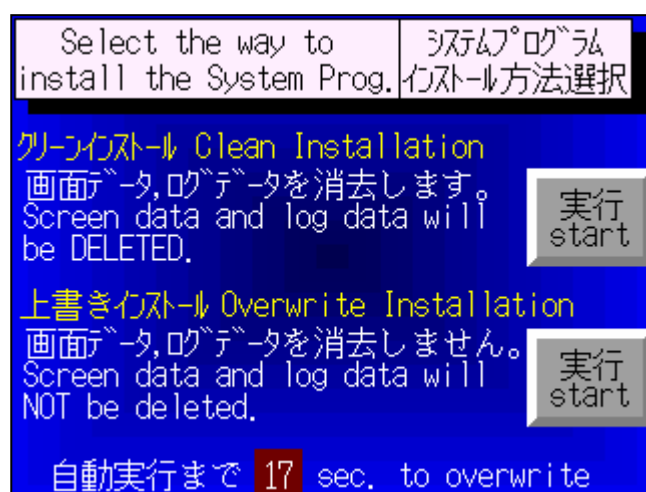
「クリーンインストール」を推奨

- ・ 通常運転時の起動中、エラーメッセージが表示された場合
- ・ 画面データが入っていない状態で、システムをバージョンアップしたい場合（出荷直後や画面データ領域フォーマット直後の状態）

「上書きインストール」を推奨

- ・ 画面データ、ログデータを NS 本体に置きながら、システムだけをバージョンアップしたい場合

＜NS5、NSJ5、NSH5 の選択画面＞



＜NS12/10/8、NSJ12/10/8 の選択画面＞



インストール方法説明の右側の実行ボタンを押してください。

なお、選択画面表示後 **20 秒以内** にタッチパネル入力がなかった場合は、自動的に「上書きインストール」が選択されたものとして、以降のプログラムを続けます。

## 2. リカバリー/アップデートプログラムの動作

この章では、リカバリー/アップデートプログラム実行中の動作について説明します。本体画面の表示例は NS10-V2/NS8-V2 相当です。

### <クリーンインストール実行概要>

- ①画面データ領域のフォーマット
- ②システムプログラム領域のフォーマット
- ③システムプログラム Ver.8.1 のダウンロード
- ④オペレーティングシステム Ver.3.14<sup>(\*)</sup>のアップデート
- ⑤ログデータの初期化

お願い

**プログラム実行中は絶対に電源を切らないでください。**

### <上書きインストール実行概要>

- ①設定ファイルの一時退避
- ②システムプログラム領域のフォーマット
- ③システムプログラム Ver.8.1 のダウンロード
- ④オペレーティングシステム Ver.3.14<sup>(\*)</sup>のアップデート
- ⑤設定ファイルの復旧

(\*): NS5-□Q1□-V2、NSJ5-□Q1□、NSH5-SQ□1□-V2 の場合は、Ver.3.15 へアップデートされます。

### <プログラム実行時間の目安>

NS 本体の機種により異なりますが、リカバリー/アップデートプログラムの実行時間は、およそ3分間です。

### 2.1 クリーンインストール

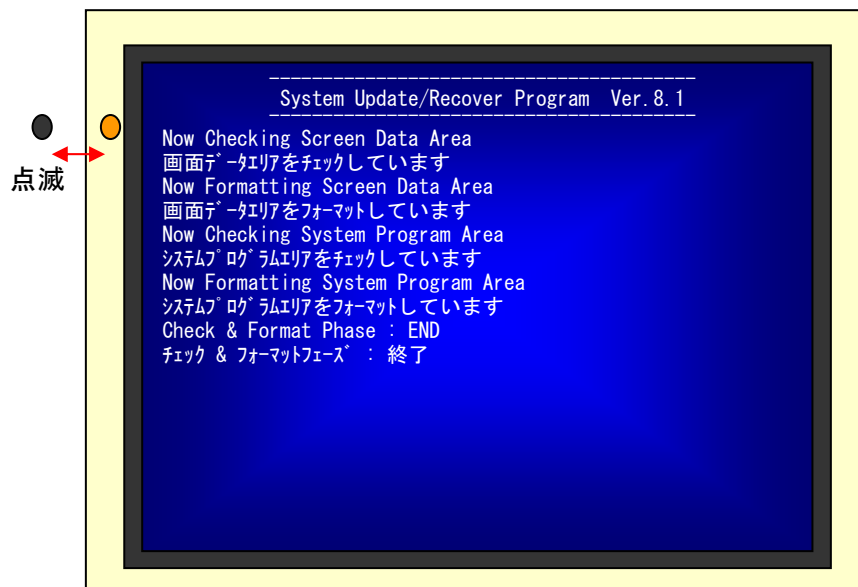
#### 2.1.1 システムプログラム領域のフォーマットまで

プログラムが開始されると、LED が橙色で点滅します。

続いてプログラムタイトルが表示され、画面データ領域のチェック、フォーマット、

システムプログラム領域のチェック、フォーマットを行います。

このフェーズの処理が終了すると、“チェック & フォーマットフェーズ：終了”と表示されます。



## 2.1.2 システムプログラムのダウンロード

システムプログラムをダウンロードします。

ダウンロードが終了すると、“システムプログラム ダウンロードフェーズ : 終了”と表示されます。



### 2.1.3 オペレーティングシステムのアップデート

オペレーティングシステムをアップデートします。

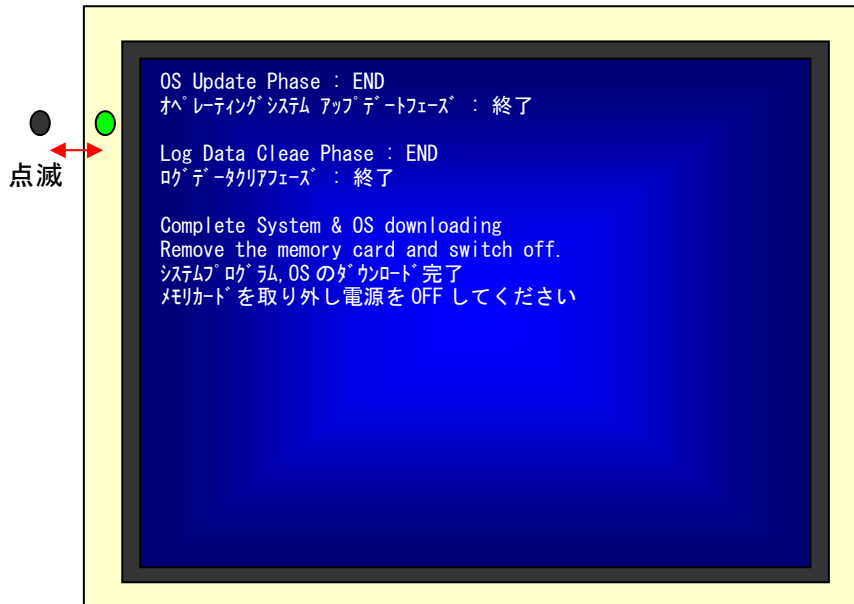
アップデートが終了すると、“オペレーティングシステム アップデートフェーズ：終了”と表示されます。



#### 2.1.4 ログデータの初期化とプログラム終了

ログデータの初期化はすぐに終了し、“ログデータクリアフェーズ：終了”と表示されます。  
すべて正常に終了した場合、最後に“電源を OFF にしてください。”と表示され、LED が緑色で点滅します。

電源を切り、メモ리카ードを抜いてください。



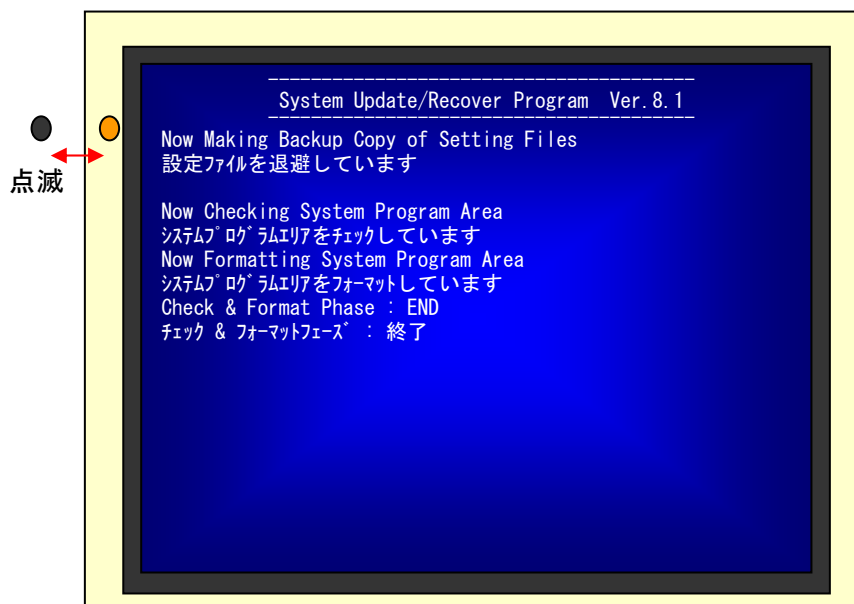
## 2.2 上書きインストール

### 2.2.1 システムプログラム領域のフォーマットまで

プログラムが開始されると、LED が橙色で点滅します。

続いてプログラムタイトルが表示されます。

設定ファイルの一時退避を実行した後に、システムプログラム領域のチェック、フォーマットを行います。  
このフェーズの処理が終了すると、“チェック & フォーマットフェーズ：終了”と表示されます。

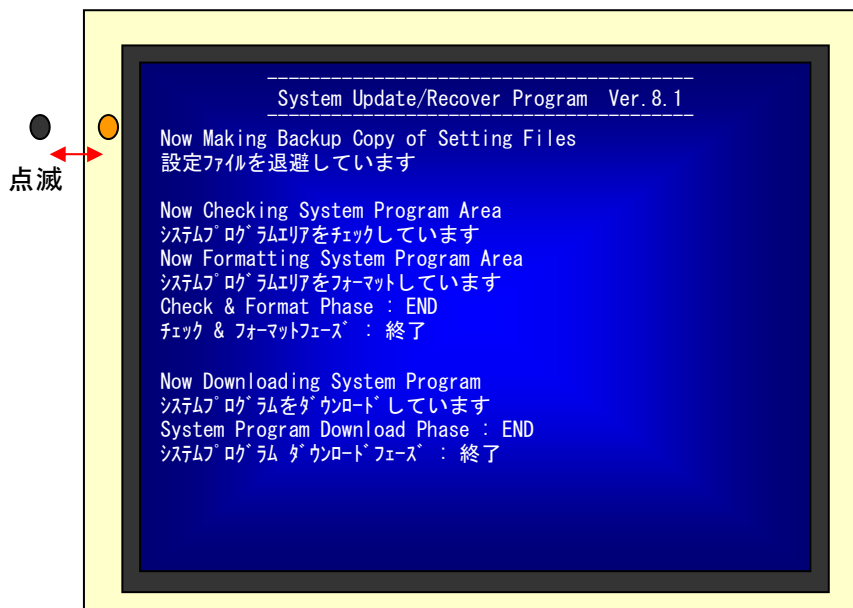




### 2.2.2 システムプログラムのダウンロード

システムプログラムをダウンロードします。

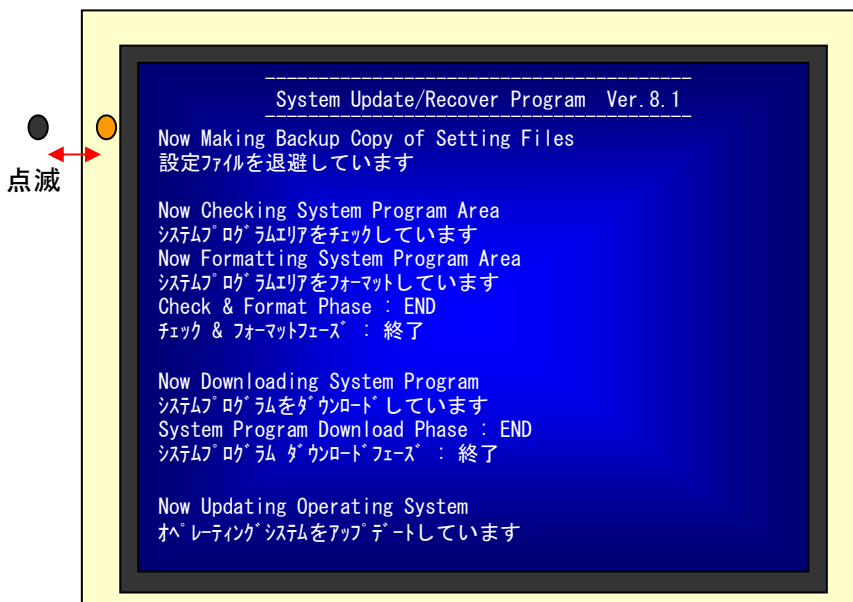
ダウンロードが終了すると、“システムプログラム ダウンロードフェーズ：終了”と表示されます。



### 2.2.3 オペレーティングシステムのアップデート

オペレーティングシステムをアップデートします。

アップデートが終了すると、“オペレーティングシステム アップデートフェーズ：終了”と表示されます。



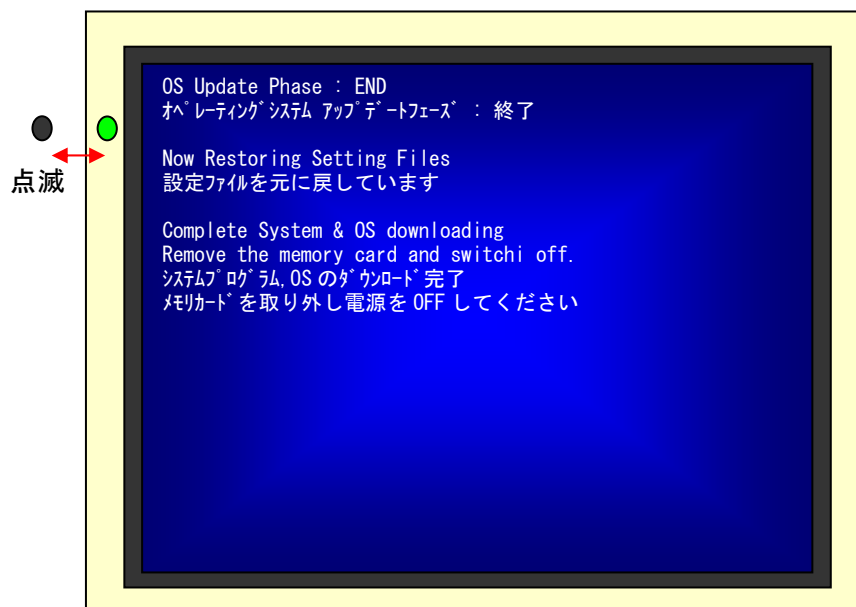


#### 2.2.4 設定ファイルの復旧とプログラム終了

一時退避していた設定ファイルを元に戻します。

ここまですべて正常に終了すると、最後に“電源を OFF にしてください。”と表示され、LED が緑色で点滅します。

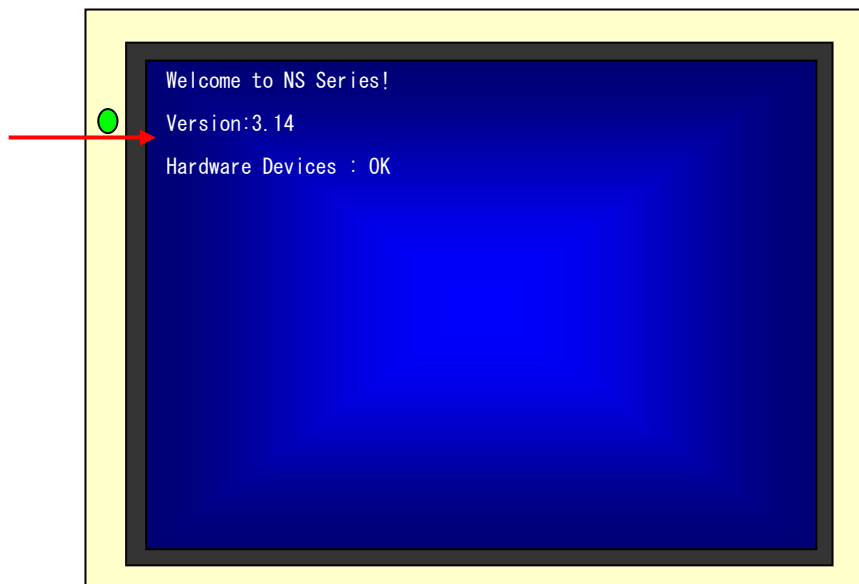
電源を切り、メモ리카ードを抜いてください。



### 3. リカバリー/アップデート後の確認

リカバリー/アップデートプログラムの正常終了後、メモ리카ードを抜いて電源を再投入し、次の2点をご確認ください。

#### 3.1 オペレーティングシステムのバージョン確認



電源投入直後の表示で、2番目に表示されているものがオペレーティングシステムのバージョンです。

3.14<sup>(\*)</sup>になっていることをご確認ください。

(\*)：NS5-□Q1□-V2、NSJ5-□Q1□、NSH5-SQ□1□-V2 の場合は、3.15 になっていることをご確認ください。

#### 3.2 システムプログラムのバージョン確認

クリーンインストール実行直後は、画面データが存在しないため、英語表記になります。日本語表記にするには、以下の操作を行ってください。

1. ブートメッセージ出力終了直後の英語ダイアログで、OK ボタンを押します。
2. 英語システムメニューに移動しますが、言語切替で日本語を選択し、書込みボタンを押します。
3. 言語切替を行うかどうか確認ダイアログが表示されますので、YESを選択します。
4. 正常に言語切替が終了すると終了ダイアログが表示されますので、OK ボタンを押します。

続いて、システムメニューの特殊画面タブから、バージョン表示を選択してください。ここで表示されているものがシステムプログラムのバージョンです。8.1 になっていることをご確認ください。

<NS12/10/8/5、NSH5 の場合>

バージョン表示

NS10-TV01-V2 システムバージョン 8.1  
プロジェクトデータバージョン 8.00

戻る

<NSJ12/10/8/5 の場合>

バージョン表示

NSJ5\_TQ01\_G5D

コントローラ  
ユニットバージョン 3.0

表示部  
システムバージョン 8.1  
プロジェクトデータバージョン 6.50

戻る

#### 4. トラブルシューティング

実行中に起こる可能性のある状態と、それに対する対処方法を述べます。

状態	原因	対処方法
LED が赤点灯のまま何も始まらない	ハードウェアに記録されている機種情報が読み取れない。	お客様での復旧はできません。弊社連絡先にお問い合わせください。
LED が緑点滅しながらブザーが鳴る	バックライトが故障している。	お客様での復旧はできません。弊社連絡先にお問い合わせください。
Touch Panel Error と表示された	タッチパネルが検出できない	
LED が赤点滅になった／ERROR と表示された	システムプログラムのダウンロードまたはオペレーティングシステムのアップデートにおいて失敗した。	メモ리카ードの内容が壊れていないか、パソコンで確認し、もう一度初めからやり直してください。
LED が橙点滅のまま長時間変化がない	システムが不安定になっている。	電源、ノイズ、温度などの条件が適切か確認してください。メモ리카ードの内容が正常かパソコンで確認し、もう一度初めからやり直してください。
	PLC と通信しながら、システムアップデートプログラムを起動した。	通信ケーブルをすべて NS 本体から抜き、もう一度初めからやり直してください。
LED が橙点灯のまま、何も始まらない	メモ리카ードの認識ができない	別のメモ리카ードにプログラムをコピーし、実行してください。第5章メモ리카ードに関するご注意もお読みください。
LED が緑点灯で画面に「警告 No.24」が表示された	以下の NS シリーズに対し、Ver.8.0 未満のバージョンのリカバリー/アップデートプログラムを実行しようとした。 NS5-SQ1□-V2、 NS5-TQ1□-V2、 NS5-MQ1□-V2、 NSJ5-SQ1□、NSJ5-TQ1□、 NSH5-SQ□1□-V2	左記の NS シリーズは、Ver.8.0 未満のバージョンにリカバリー/アップデートを実行する際、メモ리카ードに含まれるプログラムの更新が必要になります。プログラムの更新については、第6章を参照してください。

## 5. メモリカードに関するご注意

### 5.1. メモリカードをフォーマットする際の注意点

当リカバープログラムを動作させる場合、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000 SP2以降がインストールされたパソコンではメモリカードをフォーマットしないで下さい。正常にプログラムが読み出せず、実行することができません。

本現象はパソコン側OSの仕様が大容量ハードディスクに対応するように変更されたために発生しています。

### 5.2. メモリカード選定の際の注意点

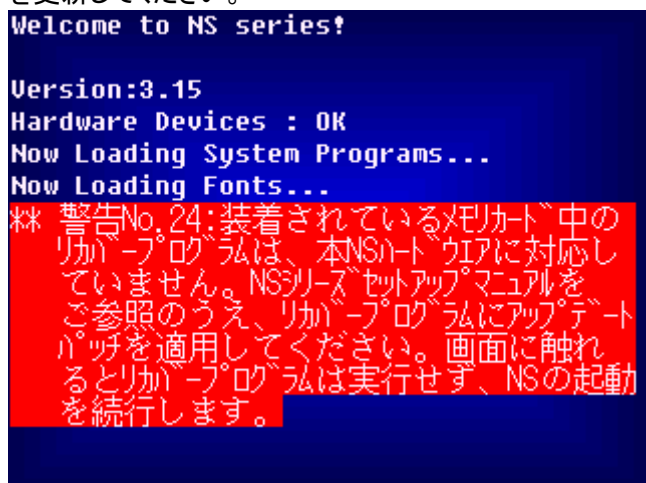
メモリカードはオムロン推奨品HMC-EF183/EF283/EF583をご使用ください。

## 6. 旧バージョンのリカバー/アップデートを使用する場合のご注意

### 6.1. リカバー/アップデートが正しく実行されない場合の対処について

本書の手順でNS本体のリカバー/アップデートを実施する際、下図に示す警告メッセージが表示される場合があります。

この警告メッセージが表示される場合、リカバー/アップデートを実施するためには、メモリカードに含まれるプログラムの更新が必要となります。以下に記載する手順に従い、リカバー/アップデートプログラムを更新してください。



### 6.2. 手順の概要

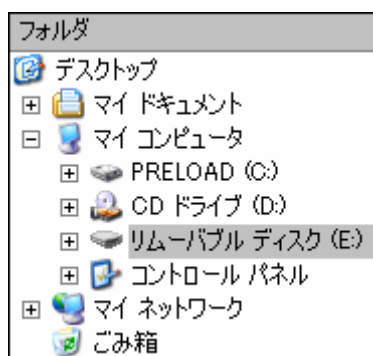
リカバー/アップデートプログラムの更新手順を次に示します。

- 1) リカバー/アップデート時に警告が表示されたメモリカードを、パソコンのメモリカードスロット、もしくはUSBメモリカードアダプタに挿入します。
- 2) 更新用プログラム(CFPATCH.EXE)を実行して、リカバー/アップデートプログラムを更新します。
- 3) 第1章の手順に従い、再度リカバー/アップデートを実行します。

### 6.3. 手順の詳細

#### 1) メモリカードをパソコンのドライブに挿入する

リカバー/アップデート時に警告が表示されたメモリカードを、パソコンのメモリカードスロットに挿入します。このとき、メモリカードのドライブ番号を記録しておきます。



左の例ではドライブ E がメモリカードのドライブです。

お使いのパソコンにメモリカードスロットが無い場合は、USBメモリカードアダプタ経由でも実行可能です。

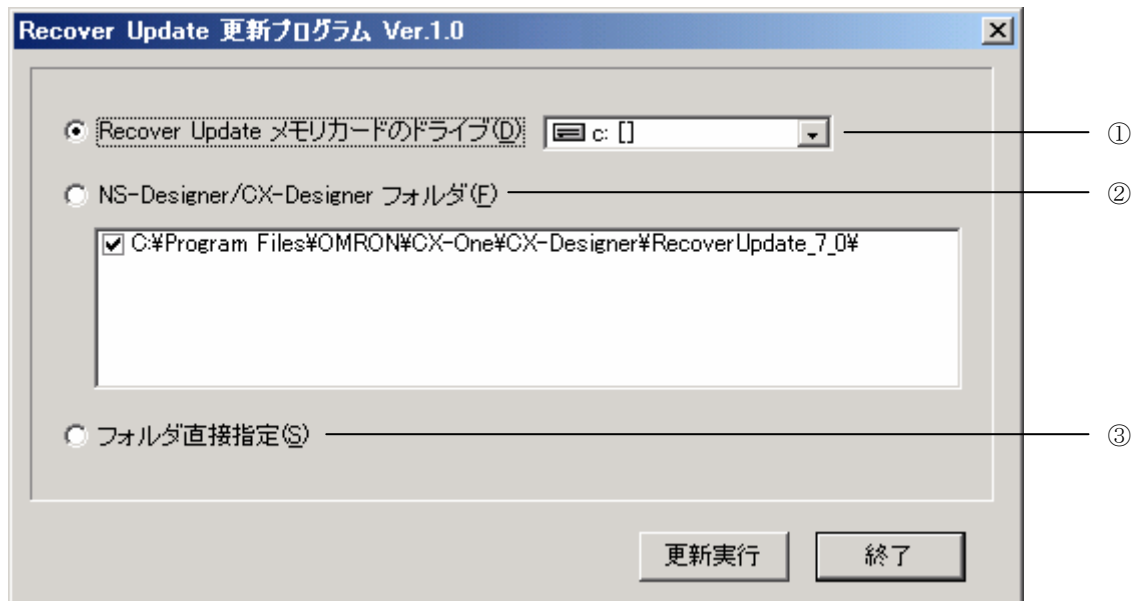
## 2) 更新プログラム、CFPATCHを実行する

更新には、CX-DesignerもしくはCX-OneのCD-ROMの ¥Utility¥Japanese¥RecoverUpdateフォルダに格納されている、CFPATCH.EXEを使用します。



左図が CFPATCH.EXE のアイコンです

CFPATCHを実行すると更新プログラムが起動し、次に示すダイアログが表示されます。



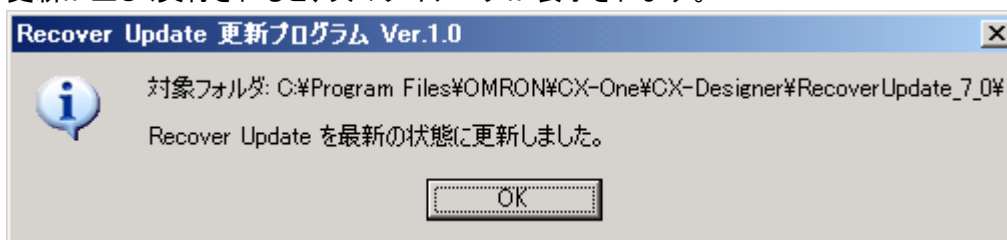
更新の方法として次の3つのいずれかを選択して「更新実行」ボタンを押します。

- ① メモリカードのプログラムを更新する場合（デフォルト）  
メモリカードに格納されている、リカバー/アップデートのプログラムを直接更新します。  
手順1)のメモリカードのドライブを指定してください。
- ② パソコン内のリカバー/アップデートプログラムを更新する場合  
NS-Designer/CX-Designerと共にインストールされたリカバー/アップデートプログラムを更新します。ウィンドウ中央に更新対象のリカバー/アップデートのフォルダ一覧が表示されるので、更新対象をチェックしてください。
- ③ リカバー/アップデートプログラムの格納フォルダを直接選択し更新する場合  
標準のインストールフォルダとは別のフォルダに格納されているリカバー/アップデートプログラムを更新します。「更新実行」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログが表示されるので、対象となるフォルダを指定してください。



### 3) 更新プログラムの実行結果を確認する

更新が正しく実行されると、次のダイアログが表示されます。



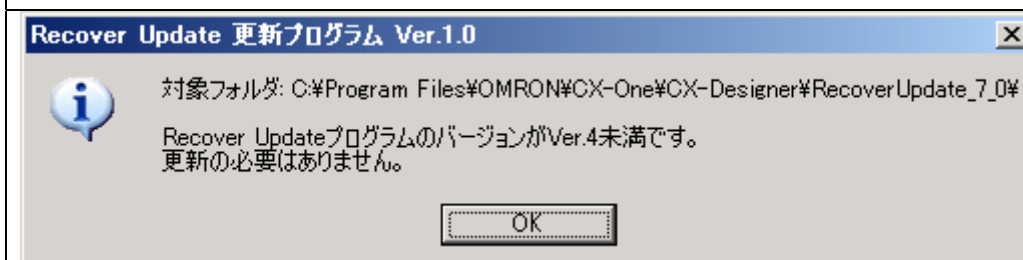
### 4) 更新したりリカバー/アップデートプログラムを再度NS本体で実行する

本書1項の手順に従って、再度実行してください。

## 6.4. 更新プログラムの表示ダイアログとその対処



指定されたりリカバー/アップデートプログラムは更新済みです。



システムプログラムのバージョンがVer.4未満のNS本体（形式の末尾に-V1、-V2の表記が無い本体）です。更新の必要はありません。



指定されたドライブ、フォルダにはリカバー/アップデートプログラムが格納されていません。正しい場所を指定して再度更新プログラムを実行してください。

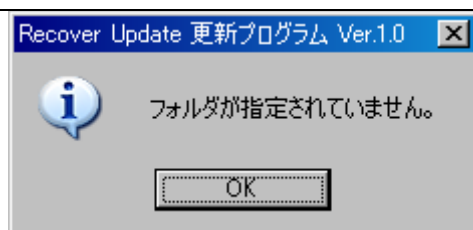


指定されたドライブ、フォルダが書き込み禁止のため、プログラムを更新することができません。  
プロパティを確認してください。



指定されたドライブ、フォルダの空き容量が不足しているか、または書き込み禁止のため、プログラムを更新することができません。

ファイル、フォルダの空き容量、プロパティを確認してください。



「NS-Designer/CX-Designerフォルダ」選択時、リカバリー/アップデートのフォルダー一覧から更新対象を指定せずに、「更新実行」ボタンをクリックしました。

更新対象のフォルダを選択(チェックボックスをチェックON)してください。